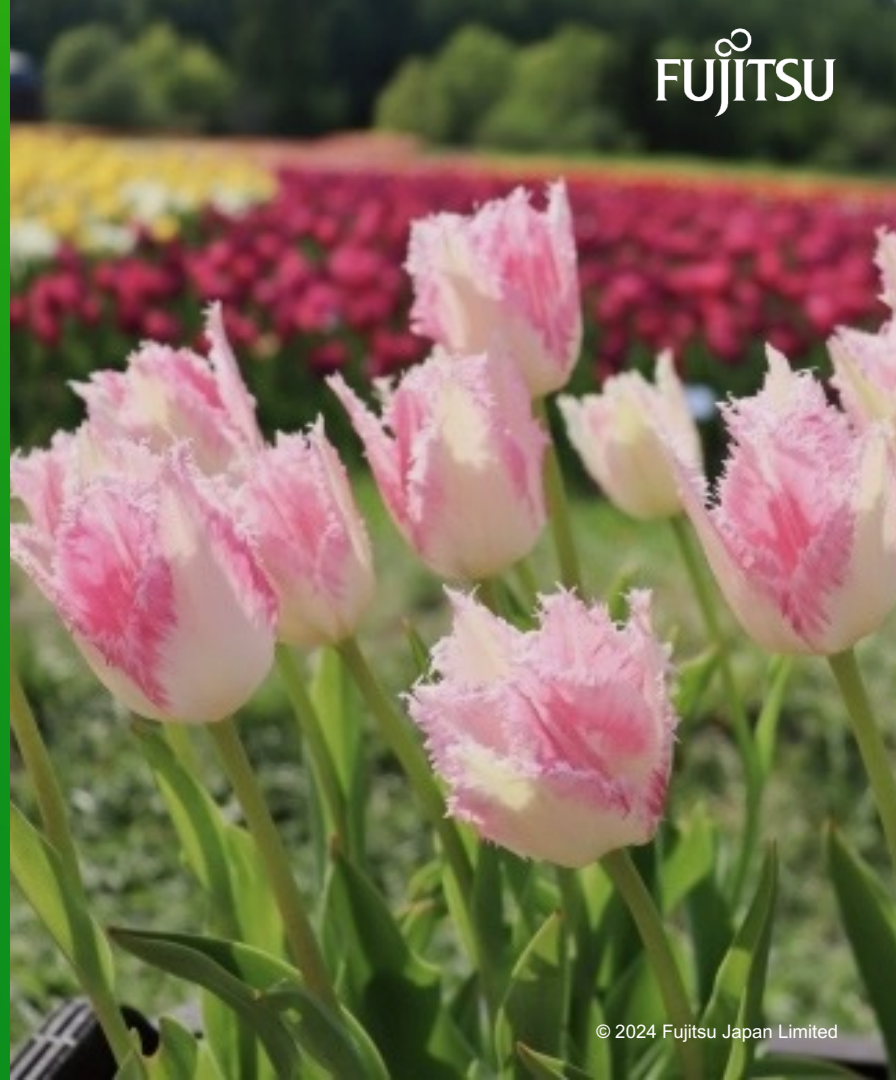


長崎県 佐世保市 様

道路パトロール 支援サービス 導入事例

新技術で社会インフラの適切な維持
管理を目指す

富士通Japan株式会社



道路パトロール支援サービス：佐世保市様

取り組みテーマ

デジタル技術を活用した高度かつ効率的な土木インフラ施設の管理による安心・安全な社会基盤の構築

佐世保市は長崎の県北に位置し、古くより海上交通の要衝でもある、九州有数の観光地です。日々多くの大型車両が乗り入れる、アメリカ文化のアジアの玄関。道路施設は約4,000路線、管理延長約1,800Kmを有し、パトロールは東部、西部2区域を2班編成で実施しています。

同市では、進行する社会インフラの老朽化対策として2022年より「道路パトロール支援サービス」を採用し、パトロール業務の強化を図ることで管理水準の向上と、さらなる社会基盤の適切な維持管理に取り組んでいます。



効果1

ICT化による情報共有の向上

現場と管理者間の迅速な情報伝達・意思決定により道路巡回業務の高度化を実現

導入効果

効果2

市道全体の見える化

小型デバイスを用いて路面の劣化（平坦性・ひび割れ）地点や区間が見える化

パトロール運用の少しの変化で大きな効果

パトロール車両にスマートフォンを載せて走行するだけで、パトロールルートや路面の劣化地点の把握が可能となります。撮影写真は、一日の作業工程の記録書として自動作成されるため、写真整理や地図の切貼りが不要となりました。

課題

- 委託事業者からの業務連絡件数が多く、窓口対応の負担を軽減したい
- 市道の路面状況を正確に把握したい

施策と効果

- スマートフォンを活用したパトロール走行により委託事業者との視覚的かつリアルタイムな情報連携が実現
- 窓口対応の業務効率化と補修作業の生産性向上

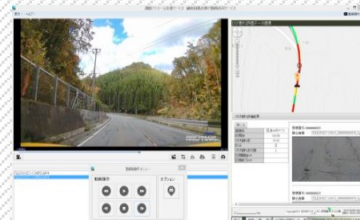
推進のポイント

POINT 1

デジカメによる現場写真の撮影・記録を、スマートフォン運用としたことで、時刻や場所(路線)、位置情報を正確に記録し可視化

POINT 2

従来のパトロール業務を変更することなく、業務内容や路面データ収集を強化



インフラメンテナンスにおけるDXソリューション
道路パトロール支援サービス

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fjj/solutions/industry/local-government/road/>

富士通 J a p a n 株式会社

お客様総合センター 0120-835-554

受付時間 平日9時～17時30分

(土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く)

